

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	会津医療センター 精神医学講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 30: 597-601
Issue Date	2020-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1285
Rights	©2020 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2020-06-03T09:05:21Z

会津医療センター 精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Kobayashi R, Hayashi H, Kawakatsu S, Ishiki A, Okamura N, Arai H, Otani K. [¹⁸F]THK-5351 PET imaging in early-stage semantic variant primary progressive aphasia: a report of two cases and a literature review. *BMC neurology*. 201808; 18(1):109.

Miura I, Kunii Y, Hino M, Hoshino H, Matsumoto J, Kanno-Nozaki K, Horikoshi S, Kaneko H, Bundo M, Iwamoto K, Yabe H. DNA methylation of ANKK1 and response to aripiprazole in patients with acute schizophrenia: A preliminary study. *Journal of Psychiatric Research*. 201803; 100:84-87.

Matsumoto J, Nagaoka A, Kunii Y, Miura I, Hino M, Niwa SI, Nawa H, Takahashi H, Kakita A, Yabe H. Effects of the -141C insertion/deletion polymorphism in the dopamine D2 receptor gene on the dopamine system in the striatum in patients with schizophrenia. *Psychiatry Research*. 201806; 265:115-118.

Yukawa T, Iwakura Y, Takei N, Saito M, Watanabe Y, Toyooka K, Igarashi M, Niizato K, Oshima K, Kunii Y, Yabe H, Matsumoto J, Wada A, Hino M, Iritani S, Niwa SI, Takeuchi R, Takahashi H, Kakita A, Someya T, Nawa H. Pathological alterations of chondroitin sulfate moiety in postmortem hippocampus of patients with schizophrenia. *Psychiatry Research*. 201812; 270:940-946.

森 啓, 嶋田裕之, 東海林幹夫, 池内 健, 鈴木一詩, 千田道雄, 石井賢二, 松田博史, 岩田 敦, 井原涼子, 岩坪 威, 武藤香織, 中澤栄輔, 関島良樹, 森 悦朗, 池田 学, 池田将樹, 川勝 忍, 中西亜紀, 橋本 衛, 布村明彦, 松原悦朗, 福井 充, 白戸朋代, 平井香織, 坂本昌子, 藤井比佐子, 石井一成, 西郷和真. 【実施診療のための最新認知症学—検査・治療・予防・支援—】 アルツハイマー病の先進医療と Registry DIAN-J 研究登録事業. *日本臨床*. 201801; 76(増刊 1):258-265.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史. 【実施診療のための最新認知症学—検査・治療・予防・支援—】 鑑別診断 前頭側頭葉変性症の臨床. *日本臨床*. 201801; 76(増刊 1):137-142.

川勝 忍. 日本老年精神医学会 NEWS 報告記 第33回日本老年精神医学会を開催して. *老年精神医学雑誌*. 201809; 29(9):1003-1005.

〔総説等〕

國井泰人. 統合失調症 第2章 病態 ブレインバンクと死後脳研究. 最新精神医学 別冊 診断と治療のABC. 201806; 136:54-61.

國井泰人, 松本純弥, 長岡敦子, 日野瑞城, 丹羽真一, 矢部博興. 生前登録制度に基づく精神疾患ブレインバンクの実践—当事者と研究者が協働する研究体制とは—. *精神神経学雑誌*. 201804; 120:269-276.

〔症例報告〕

Saigo K, Kunii Y, Kawakatsu S. A 5-Year Follow-Up of Psychological Distress Caused by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: A Case Report. The Primary Care Companion for CNS Disorders. 201802; 20(1):17102144.

〔その他〕

西郷佳世. 「ジャック・ダヴィエール 近代白内障手術の先駆者 (濱田峯次郎 著、幻冬舎 2018年)」書評. 日仏医学. 2018; 40(1):82-88.

研究発表等

〔研究発表〕

Kawakatsu S. A Japanese pedigree of Alzheimer's disease with novel presenilin 1 mutation Try215Arg and amyloid angiopathy. A report of three cases. ICN2018 TOKYO; 20180923-27; Tokyo.

後藤大介, 星野 大, 國井泰人, 鈴木祐子, 宮川明美, 松岡貴志, 松本貴智, 古川 大, 藤本 聡, 各務竹康, 日高友郎, 矢部博興. 「地域における認知症診療の現状把握のためのアンケート」による質問紙調査の結果. 第 37 回日本社会精神医学会; 20180301; 京都.

和田 明, 國井泰人, 日野瑞城, 松本純弥, 長岡敦子, 丹羽真一, 竹島 明, 高橋 均, 那波宏之, 柿田明美, 笠井清登, 矢部博興. 統合失調症脳における慢性炎症関連分子のジェネティックニューロパソロジー. 第 13 回日本統合失調症学会; 20180323; 徳島.

國井泰人, 矢部博興. 福島地区の精神疾患拠点の構築. 平成 30 年度リソース・倫理チーム第 3 回分科会; 20180520; 東京.

川勝 忍. アルツハイマー病の多様性. 第 59 回日本神経学会学術大会; 20180523-26; 札幌.

宮川明美, 國井泰人, 前田正治, 後藤大介, 松本貴智, 古川 大, 星野 大, 鈴木祐子, 藤本 聡, 日高友郎, 各務竹康, 福島哲仁, 熊倉徹雄, 矢部博興. 重大な心的外傷体験により持続性に解離状態を呈した高齢者の一例. 第 17 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20180610; 別府.

松本純弥, 國井泰人, 板垣俊太郎, 三浦 至, 刑部有祐, 志賀哲也, 矢部博興. 自宅に対するカプグラ妄想を呈した統合失調症の一例. 第 114 回日本精神神経学会総会学術総会; 20180623; 神戸.

後藤大介, 星野 大, 國井泰人, 鈴木祐子, 宮川明美, 松岡貴志, 松本貴智, 古川 大, 藤本 聡, 各務竹康, 日高友郎, 矢部博興. 「地域における認知症診療の現状把握のためのアンケート」調査結果. 第 33 回日本老年精神医学会; 20180629; 郡山.

宮川明美, 國井泰人, 後藤大介, 松本貴智, 古川 大, 星野 大, 日高友郎, 各務竹康, 熊倉徹雄, 矢部博興. 東日本大震災に伴う重大な心的外傷体験により仮性認知症を呈した解離性障害の一例. 第33回日本老年精神医学会; 20180629; 郡山.

國井泰人. 若手研究者育成プログラム・プログレスレポート 精神疾患死後脳研究: ジェネティックニューロパソロジー及びリソース利用の有用性. 第40回日本生物学的精神医学会; 20180907; 神戸.

長岡敦子, 國井泰人, 日野瑞城, 松本純弥, 丹羽真一, 竹島 明, 那波宏之, 柿田明美, 矢部博興. 統合失調症死後脳におけるALDH4A1についてのジェネティックニューロパソロジー. 第40回日本生物学的精神医学会; 20180907; 神戸.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史. アミロイドPET陰性を確認した晩期発症型意味性認知症の2例. 第42回日本神経心理学会学術集会; 20180913-14; 山形.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史, 石木愛子, 岡村信行, 大谷浩一. 若年発症と高齢発症の初期意味障害型進行性失語(svPPA)の1年経過—【18F】THK-5351 PETの所見も含めて—. 第42回日本神経心理学会学術集会; 20180913-14; 山形.

泉 竜太, 堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 野崎途也, 一瀬瑞絵, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興. 記憶回復後にSPECTで脳血流が改善した全生活史健忘の一例. 第72回東北精神神経学会; 20180930; 山形.

星野 大, 國井泰人, 丹羽真一. 統合失調症の社会認知機能の包括的検査バッテリーABCDの成績と社会機能との関連. 第9回東北精神保健福祉学会; 20180930; 山形.

丹羽真一, 前田正治, 星野 大, 國井泰人, 竹林由武. 福島県における震災関連自殺予防の手掛かりを求めて(その2). 第9回東北精神保健福祉学会; 20180930; 山形.

西郷佳世. 語りえぬ抑圧、気づかぬ抑圧. 日本精神病理学会第41回大会; 20181005-06; 神戸.

川勝 忍, 小林良太, 林 博史, 大谷浩一. 精神医学的視点から前頭側頭葉変性症におけるアパシーとうつ状態. 第23回日本神経精神医学会学術集会; 20181006-07; 松江.

泉 竜太, 國井泰人, 堀越 翔, 野崎途也, 河野創一, 日野瑞城, 松本純弥, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 閉スペクトラム症(ASD)と統合失調症スペクトラム障害(SSD)の鑑別について近赤外線スペクトロスコピイ(NIRS)の有用性を検討した一例. 第48回日本臨床神経生理学会; 20181109; 東京.

國井泰人, 星野 大, 丹羽真一. 統合失調症の社会認知機能の包括検査バッテリーABCDの成績と社会機能との関連(第2報). 第18回精神疾患と認知機能研究会; 20181111; 東京.

川勝 忍. 意味性認知症(SD). 第42回日本高次脳機能障害学会学術総会サテライト・セミナー「進行性失語」; 20181208; 神戸.

[シンポジウム]

國井泰人, 他. 若手中堅シンポジウム1 ここまで分かった統合失調症～分子生物学的研究～ 精神疾患死後脳研究の最前線. 第13回日本統合失調症学会; 20180324; 徳島.

國井泰人. シンポジウム45 脳から見た精神科臨床ー精神科ブレインバンクへの期待ー精神科臨床と死後脳とを結ぶ研究とは. 第114回日本精神神経学会総会学術総会; 20180621; 神戸.

國井泰人. シンポジウム21 精神疾患を死後脳から解明するー精神科ブレインバンクへの期待ー精神疾患死後脳研究の実際. 第40回日本生物学的精神医学会; 20180908; 神戸.

〔特別講演〕

Kunii Y, Hino M, Nagaoka A, Izumi R, Niwa And Hirooki Yabe S. The alternation of DARPP-32 in the postmortem brains from patients with schizophrenia: genetic neuropathology. 2018 Annual Meeting of the Taiwan Society of Schizophrenia Research; 20180825; Taipei, Taiwan.

國井泰人. 生物学的理解に基づく統合失調症治療を目指して. JANSSEN PSYCHIATRY Seminar in Fukushima; 20180201; 福島.

國井泰人. 今、わたしがLAIを選ぶ理由. 平成29年度岩手県精神医会; 20180202; 盛岡.

國井泰人. エビリファイLAIのもたらすニュー・ノーマリゼーション. エビリファイLAI Meeting; 20180413; 盛岡.

川勝 忍. 症例から学ぶ; 認知症診断はどこまで正確にできるか?～症状・画像・病理から見えること～. 第33回日本老年精神医学会; 20180629; 郡山.

國井泰人. 精神疾患死後脳研究の最前線. 2018年度 年輪の会講演会; 20180708; 東京.

國井泰人. SDAMの登場より総合失調治療がどう変わるか. Rexulti Web Conference (From Aizu); 20180717; 会津若松.

川勝 忍. 認知症の鑑別診断におけるSPECT・アミロイドPETの役割. 第5回郡山認知症イメージングセミナー; 20180824; 郡山.

國井泰人. アルコール依存症の人たちとどうかかわるか. 平成30年度福島心のケアセンター会津出張所事例検討会; 20180828; 会津若松.

國井泰人. 東日本大震災と福島第一原子力発電所事故後のメンタルヘルスの現状と展望. 第3回東北大学災害科学研究拠点セミナー・第16回「災害と健康」学際研究推進セミナー; 20180920; 仙台.

國井泰人. 精神疾患ブレインバンクの取り組み. NCNPブレインバンク第18回市民講演会; 20180929; 東京.

國井泰人. 心身症について. 大熊町メンタルヘルス講演会; 20181127; 会津若松.

國井泰人. 個別支援における“想像”と“創造”について. ふくしま心のケアセンター相互交流会; 20181207; 郡山.

〔招待講演〕

川勝 忍. 若年認知症の診断におけるアミロイド PET の意義. 第 18 回若年認知症研究会講演会; 20180325; 八戸.

川勝 忍. 非定型アルツハイマー病の臨床・画像・病理. 第 32 回老年期認知症研究会; 20180728; 東京.

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

論 文

〔原 著〕

Soeta N, Saito T, Higuchi M, Nemoto T, Matsuida H, Oshibe I. Combined laparoscopic resection of intestinal stenosis of Garré and open preperitoneal mesh repair for irreducible femoral hernia. *Asian Journal of Endoscopic Surgery*. 201802; 11(1):68-70.

Takayanagi D, Nemoto D, Isohata N, Endo S, Aizawa M, Utano K, Kumamoto K, Hojo H, Lefor AK, Togashi K. Histological Comparison of Cold versus Hot Snare Resections of the Colorectal Mucosa. *Diseases of the Colon and Rectum*. 201808; 61(8):964-970.

Saitou M, Nemoto D, Utano K, Suzuki T, Lefor AK, Togashi K, Niitsuma K. Identification of intestinal abnormalities in patients with active pulmonary tuberculosis using small bowel capsule endoscopy. *Endoscopy International Open*. 201809; 6(9):E1103-E1108.

Guo Z, Wang Y, Shen Y, Zhu X, Nemoto D, Takayanagi D, Aizawa M, Isohata N, Utano K, Kumamoto K, Endo S, Togashi K. Automatic polyp recognition from colonoscopy images based on bag of visual words. *Proceedings - 2017 IEEE 8th International Conference on Awareness Science and Technology, iCAST 2017*. 201801; 2018-January:18-22.

Isohata N, Shimojima R, Utano K, Nemoto D, Endo S, Kato H, Aizawa M, Nemoto T, Kawarailfor A, Togashi K. Colonoscopy in Patients Aged 85 Years or Older: An Observational Study. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 201810; 2(4):155-161.

今井瑞香, 歌野健一, 富樫一智, 土田知宏. 大腸 CT 検査の前処置にルビプロストン+水溶性造影剤は有用か? 腸管洗浄剤を使用しない新たな前処置法の試み. *日本消化器がん検診学会雑誌*. 201801; 56(1):34-41.

高林 健, 永田浩一, 安田貴明, 平山眞章, 遠藤俊吾, 野崎良一, 金澤英紀, 藤原正則, 清水徳人, 岩月建